

～日本漢方臨床医会のご案内～

日本漢方臨床医会は、伝統医学である漢方医学を守り、普及発展させることを目的とした**医師の会**です。

行財政改革の推進に伴い、医療費の抑制が問題視される時、「**漢方製剤の保険給付外し**」が繰り返し提案されています。**阻止する為**には、政治活動も必要であり本会は1997年、日本東洋医学会と表裏一体の団体として発足致しました（設立経緯は、2枚目の設立趣意書をご覧ください）。

国会議員や諸団体への働きかけは元より、医師向けの講演会・漢方家庭医講習会の開催、一般への啓発活動、他団体との連携等、**漢方擁護**活動を行っております。この機会に入会を検討いただけますと幸いです。

<会員資格>

漢方に興味のある**医師・歯科医師**の方なら、どなたでも**正会員**としてご入会いただけます。年会費は、前納制で一律1万円です。

<入会特典>

◎当会では、規定の研鑽に努めて認証を得た医師・歯科医師の方を「**漢方家庭医**」として**認証**いたします。認証は**ポイント制**で、入会前に講演や講習会へ参加された分もポイント加算致します。(更新は5年毎)。



◎遠方で参加できない方でも、入会後に過去の講演会・漢方家庭医講習会の動画やスライドは視聴いただけます。規定の認証テストを納めていただくとポイントが加算できますので、漢方家庭医の認証を受けることも可能です。

◎医会メーリングリストに参加すればベテラン漢方医に相談いただけます。

<お申込み方法>

- (1)入会申込書をご記入の上、メール添付か FAX(042-591-6050 宛)でお送り下さい。
- (2)会費1万円の納入をお願い致します。入金を確認し、理事会承認後に、入会が確定致します。入金は以下の宛先までお願い致します。

(振込先: ■銀行名 ゆうちょ銀行 (コード9900)

■店番 019 ■預金種目 当座 ■店名 〇一九店(ゼロイチキユウ店)

■口座番号 0413425 ■名義 ニホンリンショウカンポウイカイ)

※振込手数料は入金者さま負担となります。

<お問い合わせ> 日本臨床漢方医会 事務局

〒191-0031 東京都日野市高幡 6-3 TEL/FAX :042-591-6050

E-mail : jim@kampo-ikai.jp <https://kampo-ikai.jp/>

日本漢方臨床医学会設立趣意書

国民経済の停滞と国家財政の赤字のもと、行財政改革の嵐が吹き荒れ、経済論議優先の医療保険制度改革が検討されています。そして、医療費縮減と患者負担増をはかる政策の一つとして、医療用漢方製剤を一般薬類似医薬品として健康保険給付から除外する（薬剤費全額の患者負担化）という可能性が出てきております。

医療に携わる者にとって医療用漢方製剤はすでに日常診療に必要不可欠な治療手段です。万一、医療用漢方製剤が保険給付除外とされ、あるいは他の薬剤よりも過重な患者負担を強いられるならば、医師の治療手段は限定され、将来の新しい医療の発展にブレーキをかけることになりましょう。医療現場は極めて混乱するものと憂慮せざるを得ません。

漢方医学は日本の医療文化であり、民族の財産です。経済原則のみで医療を律することは、21世紀の日本を考える時、大きな禍根を残すものとなりましょう。伝統医学の再評価は世界的潮流でもあります。

私たち漢方医学の臨床を志す医師は、日本の医療システムの特性に鑑み、以下が必要と考えます。

- (1) 漢方医学および医療用漢方製剤が日本の医療システムの中で適正な位置づけが行われ尊重されるよう、医療関係者、立法行政システム、および国民大衆に幅広く働きかけること
- (2) 健康保険制度下で医療用漢方製剤が他の薬剤より不利な取り扱いを受けないよう、我が国の医療制度を決定する医療費分配システムに参画すること
- (3) 漢方医学科または東洋医学科を標榜できるよう行政システムに働きかけること
- (4) 漢方医学の臨床に十分な知識を持つ人材が育ちうる環境を醸成すること
- (5) 高齢化社会に漢方医学の立場から貢献すること
- (6) 生涯にわたる研鑽を通じて、その診療の質を向上させ、社会的評価を高め、さらには経済的基盤を強化すること

以上の目標を達成するためには、日本東洋医学会という学術団体と両輪の如く活動する、地域に根付いた臨床医学会組織が必要不可欠と考えられます。そこで、私達は広く同志を募り、日本臨床漢方医学会を設立せんとするものであります。幸いにして平成9年11月1日、設立発起人をもって本会設立の合意が得られました。

全国の医師会、大学、研究機関、勤務医の先生方、そして私達の運動に理解とご賛同を頂けます皆様方には、是非ともご入会頂き、この運動にご参加頂けますようお願い申し上げます。そして、目下の急務であります健康保険問題を解決しようではありませんか。

平成9年11月吉日

発起人代表 石橋晃（救世軍ブース記念病院院長 日本東洋医学会理事）発起人一同